# Vol.08　マイナー系 3 種のスケールを弾いてみる　～その 2～

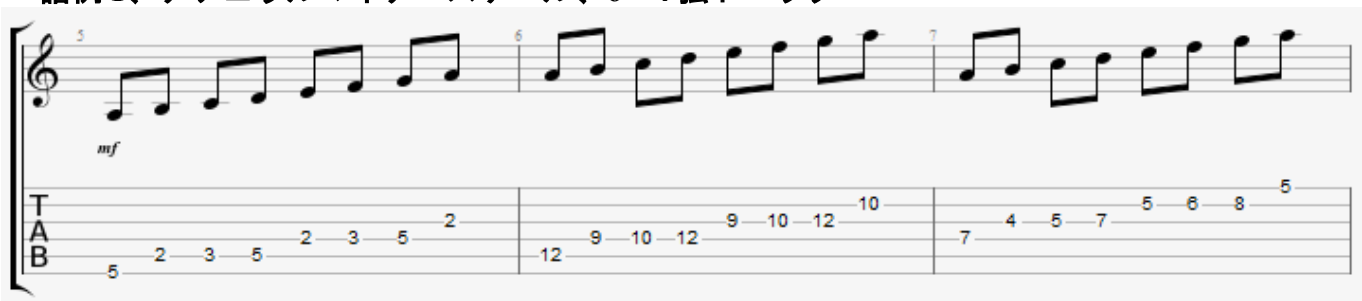
では、vol.08、始めていきましょう。

今回は、前回弾いた 3 種類のマイナースケールを、違うポジション(ブロック)で弾くトレーニングです。

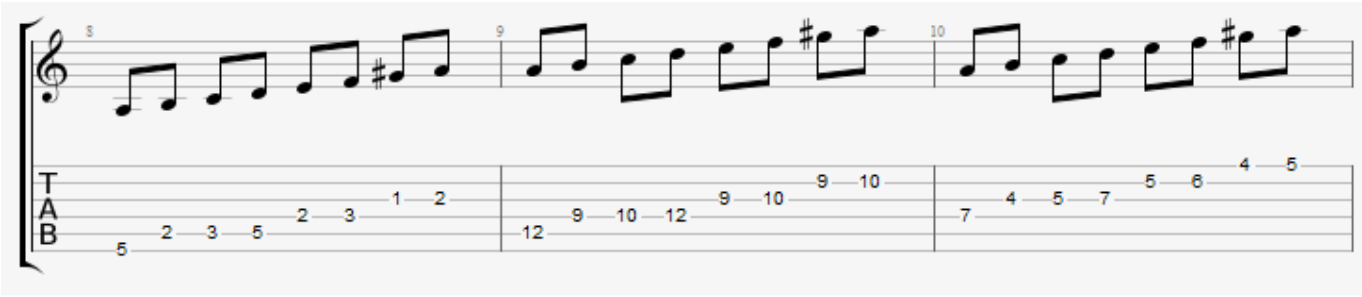
早速、譜例に行ってみましょう。いつもの様にトニックは A 音です。

スケールを、人差し指や中指から始めるポジション(弾き方)には、ある程度馴染みがあると思いますが、以下の様に、小指(もしくは薬指)から始めて、ネックのヘッド側にも進めると、フレージングの自由度が上がります。

**譜例 1、ナチュラルマイナースケール、6～4 弦トニック**

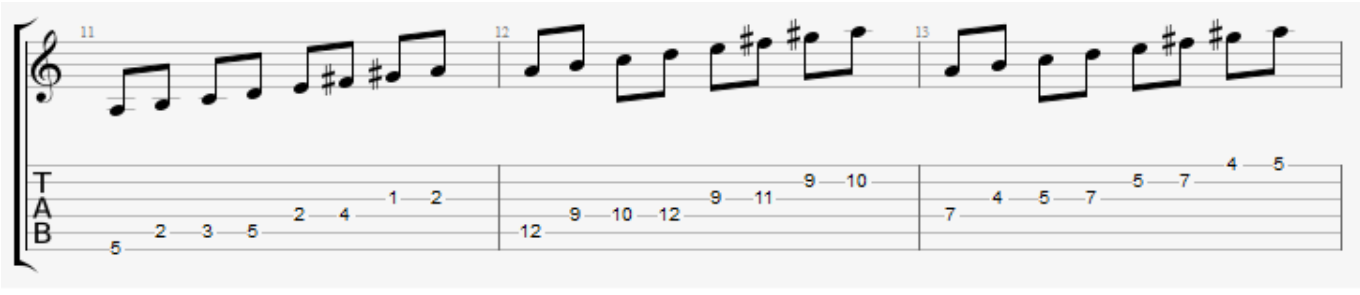



**譜例 2、ハーモニックマイナースケール、6～4 弦トニック**




中
(薬)

**譜例 3、メロディックマイナースケール、6～4 弦トニック**




薬
(小)

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved

上記3種のマイナースケールのインターバルは以下の様になっていて、赤字がナチュラルマイナーとの違いですね。

**・ナチュラルマイナー**
**tonic、M2nd、m3rd、P4th、P5th、m6th、m7th**

**・ハーモニックマイナー**
**tonic、M2nd、m3rd、P4th、P5th、m6th、M7th**

**・メロディックマイナー**
**tonic、M2nd、m3rd、P4th、P5th、M6th、M7th**

さらに、メロディックマイナーは、メジャースケールと3度が違うだけになります。

**・メジャー(アイオニアン)スケール**
**tonic、M2nd、M3rd、P4th、P5th、M6th、M7th**

これらの違いを意識しながら弾いていると、身体が勝手にインターバルの配置を覚えていきます。

この手の練習は、スピードは必要ないので、じっくりと1音1音確かめるように弾いてください。(※響きの違いも聴くようにしましょう)

vol.02の時に、メジャースケールの覚えたブロックを繋げてみる、と言う様な事を書きましたが、これらのマイナースケールも、前回やったブロックと組み合わせて弾いてみましょう。

こちらもまた、前回と今回のものを組み合わせると、指板上の大部分をカバーできます。

1オクターブ内でも可能ですが、ブロックを2つ位繋げると、メロディーが作りやすいと思うので、自由にアドリブの様な事もしてみて下さい。

では、今回は以上になります。

ありがとうございました。

大沼

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved